

私は請願第3号子供に行き届いた教育を求める請願に、意見を付して賛成といたします。

地球規模による気候変動は、私たちの世代が育った四季を感じることできる気候に変化が生じていることを懸念し、また未来を担う子どもたちの教育を保障する意味でも、この請願が要望するすべての小中学校体育館へのエアコン設備の設置は必要であることには賛同します。

市内の小中学校の教室にエアコン設備が設置となり、特に夏季における教育環境の整備としては改善がみられています。

次は、体育館への設置を希望する声があることは承知しています。

私は、公共施設更新計画に係る課題については、言及する機会を意識的に持ってきたつもりです。その公共施設の中でも教育施設の割合も高いため、その進捗には注視しています。

しかし、長寿命化の方針の中、学校施設においても例外ではないため、現在の体育館にエアコン設備の設置をしても構造上等の問題からその費用対効果を得られるかと言えば、かなり厳しい施設が少なからずあります。エアコンを設置さえすればいいわけではありません。

また、この請願でも言及されているとおり避難所となる体育館においては昨年、改定された野田市指定緊急避難所の中でも風水害の避難所が削減されました。小学校と中学校合わせて31校のうち18校が指定避難所から外れてしまいました。

風水害の時期は、おそらく夏季に多く発生することが想定され、エアコン設備の冷房の需要はあると考えますが、避難所としての体育館を想定した場合、削減された学校施設の体育館との差も生じてきます。また、教室に設置されたエアコンの活用も考えられます。すべての学校に設置するという請願項目の文言に財政的体力が厳しい中での設置にどのような優先順位が求められるかはわかりませんが、早急な設置は難題だと言わざるを得ません。その点の意見を付し、賛成いたします。